

令和5年 第856回小浜市教育委員会定例会 会議録

開催日時	令和5年6月19日(月)		開会 15:30 閉会 16:30		
開催場所	市庁舎4階401会議室				
出席委員	窪田教育長	上田職務代理者	村上委員	桂田委員	坂下委員
欠席委員					
事務局	教育部長	教育総務課長	生涯学習 スポーツ課長	松宮GL	井上GL
	栗原GL	安田企画主査	上林指導主事		
傍聴者					
会 議				会議の結果	
<p>委員会開会</p> <p>(教育長) 宣言および開会あいさつ</p> <p>教育委員の皆様にご覧いただき、取り組み状況等をご確認いただけるとありがたい。</p> <p>1 会議録の承認について</p> <p>第855回教育委員会定例会会議録《承認》</p> <p>会議録署名人2名の選任</p> <p>第856回教育委員会定例会会議録署名委員選任《村上委員、坂下委員》</p> <p>2 報告</p> <p>・報告第11号 諸般の報告 令和5年5月12日～令和5年6月18日</p> <p>行事予定 令和5年6月19日～令和5年7月31日《承認》</p>					

3 教育長報告

- ・福井大学教育学部 嶺南地域教育プログラムについて

昨年度からスタートした嶺南地域教育プログラムは、嶺南地域枠で福井大学教育学部に入学した学生を中心に、嶺南の教員になることを志す学生が参加している。

今年度のスタートにあたり、福井大学から、「キックオフセミナーとして1年生11名、2年生12名、合計23名の学生が小浜市の学校で授業参観を行い、学生達の志気を高めていきたい」という依頼があり、6月9日（金）に口名田小学校の2年生と6年生の授業を参観してもらった。

口名田小学校は、総合的な学習の時間を中心としたカリキュラムマネジメントにより、探究のプロセスを意識した学習活動を展開しており、特にふるさと学習では、体験活動、小さな地域貢献、情報発信の3つの学習活動を重視して、ふるさとを愛する心の育成と、地域の一員としての自覚の向上に取り組んでいる学校である。

具体的には、低学年で豊かな校区の自然を知ることからスタートし、中学年では地区の魅力と課題に向き合い、高学年では小浜市や福井県の魅力と課題に向き合いながら、スパイラルに学びを深めているのが特徴である。

その中で、体験活動において、学校の前を流れる南川を教材として、川遊び、安全教室を毎年全校児童で実施していることが特色である。

今申し上げた内容については、各学校がそれぞれ地域の実情を踏まえながら同様の取り組みを行っているところであるが、口名田小学校の素晴らしい点は、学校全体として、高学年での探究的な学びを小学校段階における出口として、きちんと位置付けをしている。そして、そこに向かって低学年からのカリキュラムマネジメントによる学習活動を全校的に展開していることである。

当日、私も2年生の授業を参観させていただいたが、『地域探検に出かけよう』ということで、子どもにとって魅力のある場所を一人ひとりピックアップし、発表し合い、実際に地域探検に行く場所を絞っていくという学習活動が行われていた。

子どもたちが自分で選んだ魅力ある場所を皆に紹介しながら、その中で探索場所を絞っていくのだが、学校からの距離や時間、認知度、魅力度などの条件を十分吟味し合う中で、

何とか納得解を探していこうという学びに向かう姿勢がよくうかがえた。

2年生ならではの微笑ましい様子として、あるお寺の子どもが「自分のお寺にはこんな素晴らしいものがあるのでぜひ地域探検に来て欲しい」と言い、それに対するやり取りがたくさん出てきた。最終的に残念ながら過半数の賛同は得られなかったが、「まだ諦めない」という発言もあり、皆の納得を得る中で地域探検をしていこうとしていた。まさに探究的な学習の入り口として、子どもたち中心の対話的、主体的な学習活動が行われていた。

6年生は、昨年度、3グループに分かれて参加した県のプレゼンテーション大会において、すべてのグループがそれぞれ、プレゼン大賞（最優秀賞）、福井新聞社賞（優秀賞）、審査員特別賞を受賞するという快挙を成し遂げた。

出口にあたるところで大きな成果を挙げている学校だが、そこに至るまでには低学年からのカリキュラムがしっかりと作られていて、その実践がなされており、その取り組みが高く評価できると思い、大学に推薦をさせていただいた。市教委としても、昨年、教育委員会表彰を行っている。

このことについては、本日、校長会でも紹介させていただいた。口名田小学校の取り組みの本質的な部分をしっかりと学んで、それぞれ自校の取り組みに活かしていただきたい、と申し上げた。

・岡山県奈義町教育委員会の小浜市訪問について

本日から明日にかけて、岡山県奈義町の教育委員会の指導主事と、奈義町の小中学校の教務主任、計3名が小浜市の小中学校を視察されている。

平成30年に福井大学教育学部の嶺南地域枠の創設を嶺南教育長会として福井大学へお願いした時に、先進地視察として岡山県を訪問させていただいた経緯がある。

岡山県には、岡山市を中心とした県南地域と、津山市を中心とした県北地域があり、県北の教員を希望する者が少ないという実情を抱えている。福井県と実情が似ており、また、入口（岡山大学入学試験時）と出口（岡山県教員採用試験時）において、県北地域枠というものを設けて、岡山県北部の教員になりたいという学生の人材育成を積極的に行っている。

令和元年度に嶺南6市町の教育長会として、岡山県の津山教育事務所を訪問させていた

だいた。これがご縁となり、今回、岡山県から嶺南教育事務所へ「先進地視察として、小浜市の教育の取り組みについて視察をさせて欲しい」という申し入れがあり、小浜美郷小学校と小浜第二中学校を紹介したところである。

本日は、小浜第二中学校の授業を参観していただき、ちょうど今、カンファレンス研修を行っているところである。明日は小浜美郷小学校を訪問される予定になっている。

小浜第二中学校については、総合的な学習の時間を中核とした探究的な学習活動がかなり根付いてきている。高校に入学した若狭地区の1年生を見ても、小浜第二中学校の卒業生はレベルが違う、かなり差が出ている、という話が高校の先生方から出ていると聞いている。

それだけ素晴らしい取り組みの中で、資質能力がかなり育ってきているということを知りて大変うれしく思っている。今年度からは、この総合的な学習の時間を中心した探究的な学びを各教科の学習にも波及させて、学力向上を進めるという取り組みが開始されている。その実践研究がスタートしており、期待をしているところである。

・キッズプレイスクールの開催について

明日、加斗小学校で、キッズプレイスクールが開催される。

これがどういうものか、報道発表資料を基に簡単に説明をさせていただくと、キッズプレイスクールで提供する『アクティブビーチプログラム』は、日本スポーツ協会が提唱している、子どもの発達段階に応じて習得することが望ましい動きを取り入れたプログラムである『アクティブチャイルドプログラム』をアレンジしたものである。特に、砂の上で独自性のある運動メニューを実施することにより、様々なスポーツに挑戦できる基礎運動能力を高めることができる。勿論、体育館やグラウンドでも十分実施が可能であるが、一番効果が高いのが砂の上ということである。

小浜市教育委員会では、明日、ビーチバレーボールの元日本代表の幅口絵里香選手と村上めぐみ選手を指導者に招いて、加斗小学校の児童を対象にキッズプレイスクールを実施する。午前中は1, 2, 3年生、午後は4, 5, 6年生が対象で、場所は鯉川シーサイドパークで行う。開催会場までの交通費は、(株)オーイングが負担してくださるということで、大変ありがたく思っている。

キッズプレイスchoolの理念、具体的な活動内容は、別冊の資料を添付させていただいたので、ご覧いただきたい。

小浜市では、幼児保育を中心に運動保育に力を入れており、市内の保育園等で取り組んでいるが、そこから小学校への接続が、より上手くいくよう、学校教育の中に取り入れていくことが出来ればと思っている。

今年度は、加斗小学校と内外海小学校の2校で実施するが、その反応と効果を見ながら、来年度以降、市内全小中学校に導入していくことも視野に入れて、検討を進めていきたいと考えている。

小浜市は器械運動発表会が無くなり、子ども達の体の使い方や巧緻性、柔軟性が低下してきているという学校現場からの声もある。数値的にどれだけ低下してるかという資料は手元には無いが、そういった面からも、私個人として期待をしている。

桂田委員 岡山県奈義町から小浜市に来られるということであるが、小浜市から岡山県に行かれたことはあるのか。

教育長 小浜市単独では行っていない。嶺南6市町の教育長会が、先進地視察ということで岡山県へお伺いさせていただいた。その際、津山教育事務所で研修をさせていただき、これがご縁で、嶺南教育事務所と津山教育事務所で情報交換等が行われるようになった。今回、津山教育事務所から、奈義町の教育委員会が視察先を探しているので学校を紹介してもらえないかという話があり、小浜美郷小学校と小浜第二中学校が紹介されたということである。

桂田委員 明日、加斗小学校でキッズプレイスchoolが行われるとのことだが、内外海小学校でもされるのか。

教育長 内外海小学校でも行う。今のところ、内外海小学校はグラウンドで行う予定をしている。学校によっては近辺に砂浜が無い学校もあるので、砂浜を利用できる場所は利用していただく。

桂田委員 加斗小学校と同じ内容を内外海小学校で行うのか。

事務局 内外海小学校については、明後日、グラウンドで行う予定である。内容については、砂と土の上では異なるので、若干、違ってくるとは思う。

上田職務代理者 前回、私が質問したことを、今回報告していただくことになっているが、部活動の地域移行のことで、ソフトボールの活動費はどのようになっているか、お聞きしたい。

事務局 ソフトボールの部費について、今現在は頂いていない。

上田職務代理者 学校での活動費は取っていないのか。

事務局 そのとおりである。今後、試合等があれば費用がかかると思う。用具や消耗品についても、今後は発生する可能性があるが、現在は徴収していない。

教育長 報償費については、ソフトボールは要らないと言っているが、これから地域移行が進んでいくと、要するという活動団体も出てくると予想される。そういった場合、市としてどういう考えでやっていくのかということ、整理して示していく必要がある。ここは、動き出してから予想される課題として、しっかり対応していかなければいけないと思う。

村上委員 今のところ部活動は、問題無く進められているか。

事務局 土日については、ソフトボールが地域移行して実施していただいている。剣道についても、まだ完全に地域移行した訳ではないが、土日は協会で指導いただいている。

7月中に検討委員会の開催を予定している。また、各スポーツ協会や文化協会に対して個別にお願いしていきたいと考えている。保護者等、全体に対する説明は順次行っている。具体的な移行については、今後、更に話を進めていきたい。報告は順次させていただく。

教育長 子ども会の森田会長から、ジュニアリーダー育成の受け皿となっていきたいと

いう話をいただいている。今後、既存の学校部活動の種目だけではなく、それ以外のところからも色々な受け皿が出てくると、子ども達の選択肢が広がっていくと思う。

4 その他

事務局 ・はたちのつどいの開催について

これまで成人式として開催していたが、昨年から『はたちのつどい』とした。来年の開催について、実行委員の募集等の問い合わせもあることから、日にちを決定した。令和6年1月7日（日）で、3連休の中日になる。例年、成人式はこの日に実施をしていることから、来年も1月7日を予定している。名称については、『小浜市はたちのつどい2024』とし、7月25日発行の広報おばま8月号で実行委員募集をさせていただく。

委員会閉会

（教育長）宣言

この会議録が真正であることを確認して署名する。

小浜市教育委員会議事録署名委員

委員 上田 俊彦 教育長職務代理者

委員 桂田 理津子 教育委員